

令和2年度
「就職先からの
卒業生に対する評価
(卒業生に関するアンケート)」
集計結果報告書
(令和元年度卒業生対象)



目 次

1. 実施要項	1
2. 集計結果 経営学部	
(1) 集計結果 概要	2
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	4
3. 集計結果 発達科学部（企業等）	
(1) 集計結果 概要	8
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	9
4. 集計結果 発達科学部（教育・保育等）	
(1) 集計結果 概要	13
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	14
5. 集計結果 大学院経営学研究科	
(1) 集計結果 概要	19
6. 集計結果 保育学科	
(1) 集計結果 概要	20
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	22
7. 集計結果 秘書科	
(1) 集計結果 概要	27
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	29
8. アンケート用紙	
(1) 高松大学卒業生に関するアンケート（企業等）	33
(2) 高松大学発達科学部卒業生に関するアンケート（教育・保育等）	34
(3) 高松短期大学保育学科卒業生に関するアンケート	35
(4) 高松短期大学秘書科卒業生に関するアンケート	36

令和２年度 就職先からの卒業生に対する調査（実施要項）

1. 目的

本学の卒業生を採用して頂いている企業・官公庁・病院・小学校・幼稚園・保育所・認定こども園などで、本学の卒業生が職場でどのように評価されているかを知り、また、本学の教育に対する忌憚のないご意見ご要望をうかがい、本学の教育の改善に役立てる。

2. 対象

平成３０年度及び令和元年度卒業生の就職先（大学、短大、大学院）

※ 卒業後１年及び３カ月を経過した者に関するアンケート

※ 発達科学部卒業生の就職先は、「企業等」と「教育・保育等」にアンケート用紙を分ける

※ 保育学科は保育職関係に就職した学生を対象

3. 実施日・回収期日

実施日：令和２年７月

回収期日：令和２年７月末まで

4. 実施方法

平成３０年度及び令和元年度卒業生の就職先に、業種ごとに異なるアンケート用紙を郵送する。

5. アンケート項目

別紙アンケート用紙参照

6. データ集計

学部・学科ごとに集計する。また、記述部分は内容ごとにまとめる。

7. 発行形式等

簡易製本：７部

（大学各学部長、短大各学科長、研究科長、小会議室、キャリア支援課に配架）

学内公表：教職員には小会議室、スケジュールボード（文書管理）にて閲覧できるようにする。

学外公表：公式ホームページにて閲覧できるようにする。

8. 発行時期

令和２年９月３０日

9. 担当

各学部・学科、学生支援部キャリア支援課

令和2年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 経営学部 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 56 に対し、協力数は 33 で回収率は 58.9%であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（3 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 69.7%とやや高い評価を得ている。「やや応えていない」が 15.2%（5 件）、「応えていない」という回答はなかった。

昨年と比較すると、「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 73.3%から 69.7%と若干減少しているものの、企業からのコメントを見ると比較的良い評価を得られている。この評価に満足せず、企業の人材ニーズや期待に応えることができるよう、より一層キャリア教育に力を入れていく。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば応えている」の割合が 56.3%だが、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合も 28.1%ある。また、「どちらかというやや低い」の割合も 15.6%（4 件）ある。

昨年に比べ、「全体として高い」「どちらかといえば応えている」の割合が 40.0%から 56.3%へ大幅に数値が上がっている。今回のアンケートについては、新型コロナウイルスの影響もあり、研修後実質仕事に携わる時間が短く、まだ評価をするには時間が必要になると考えられる。しかし、企業側から、「慣れない地で順調に成長し、活躍をしている」「ムードメーカーとして良い働きをしている」というコメントがみられたことから、短期間ではあるが力を十分に発揮している卒業生もいる。このようなことから、一人ひとりとより一層深く関わり、総合的な能力や意識を向上させることができるよう、キャリア支援課と経営学部教員がさらに一体となって教育に取り組んでいく必要がある。

Ⅳ-3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 57.6%、「何ともいえない、わからない」の割合が 33.3%、「あまり熱心でない」という回答は 9.1%（3 件）であった。

就職支援活動や採用依頼活動に対する熱心さの割合が昨年よりも大幅に上がっている。キャリア支援課による学生指導とサポート、そして、経営学部教員全体でも担当学生への直接的な指導や就職活動セミナーへの参加、また、キャリアカウンセラー利用へのアプローチを積極的に取り組んできた結果であるだろう。しかし、この現状に満足することなく、学生が望む就職先あるいは選択肢を広げることができるよう、キャリア支援課経営学部が一体となって就職における全般の活動に力を尽くしていく。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が 65.6%、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 34.4%、「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

昨年に比べ、全体的な評価は若干下がっている。このことから、卒業生の就業力はまだまだ安定してきているとはいえない。本学の特徴を十分に生かし、積極的かつ就業力を備えた学生に育てていけるよう、一人ひとりに対してさらにきめ細やかなキャリア教育をより一層実践していく必要がある。

V. 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「コミュニケーション能力」の回答が一番多く、次に「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が多く見られた。

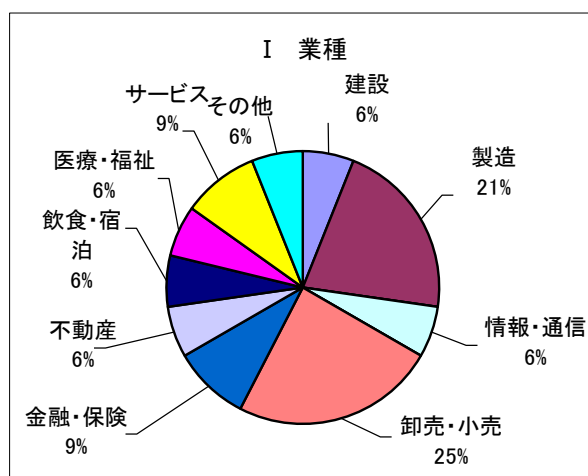
例年と同様、「コミュニケーション能力」「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が多かった。次に「性格・人柄」の回答が多い。また、「自ら何かを成し遂げようと力」「礼儀・マナー」についても比較的高い割合だった。これらの能力はすぐに身に付く能力ではないので、日頃の授業だけでなく学生指導、キャリア教育すべてを通して継続的に連動性を持って養成していく必要がある。今後は、経営学部とキャリア支援課を中心に教職員がさらに連携をとって学生指導に努めていきたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (経営学部)

調査対象	令和元年度高松大学卒業生内定先 56 社		
実施時期	令和2年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	56 社	
	協力数	33 社	
回収率		58.9%	

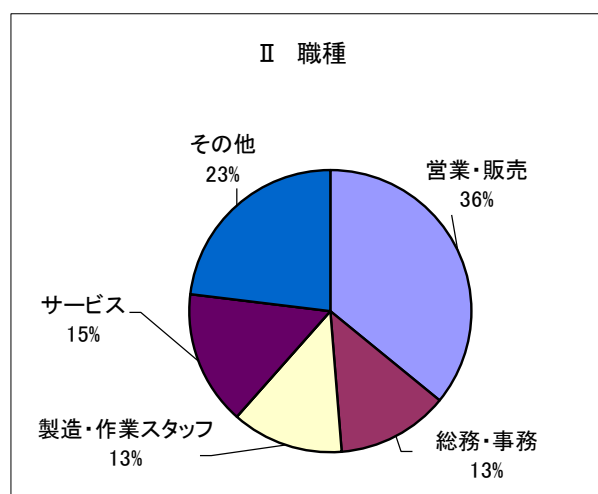
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	2
2	製造	7
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	2
5	運輸	0
6	卸売・小売	8
7	金融・保険	3
8	不動産	2
9	飲食・宿泊	2
10	医療・福祉	2
11	サービス	3
12	その他	2



II・III 令和2年4月に採用された本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

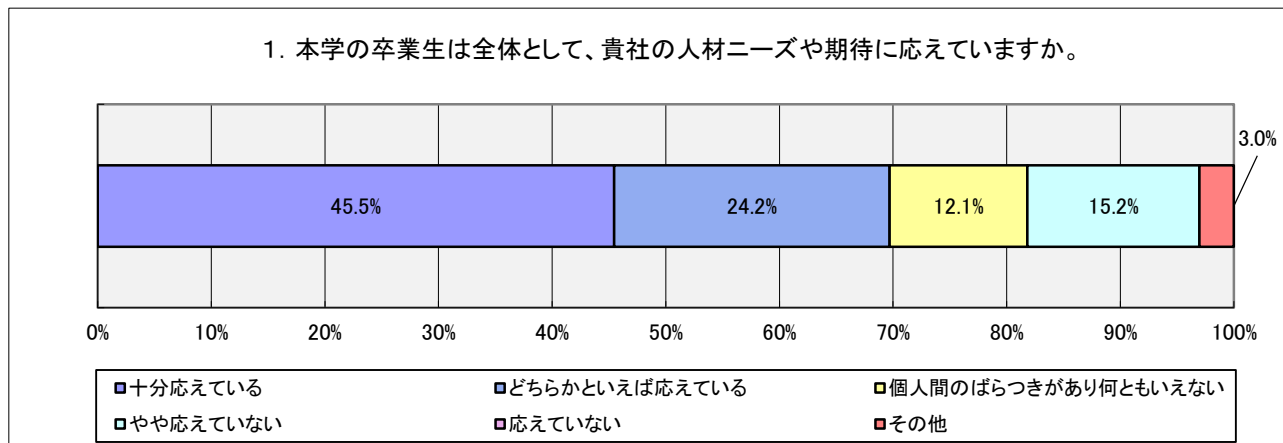
	職 種	件数	人数	内留学生	内退職者(3ヵ月以内)
1	営業・販売	11	14	4	1
2	総務・事務	4	5	0	0
3	製造・作業スタッフ	5	5	0	0
4	通訳・貿易	0	0	0	0
5	サービス	6	6	0	0
6	公務	0	0	0	0
7	その他	7	9	0	0



IV 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

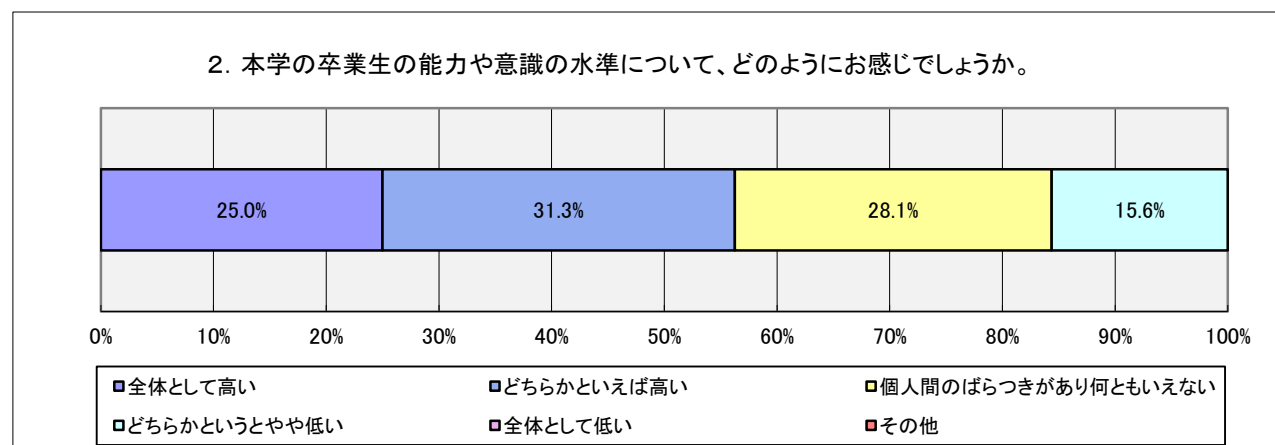
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	15
2	どちらかといえば応えている	8
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	4
4	やや応えていない	5
5	応えていない	0
6	その他	1



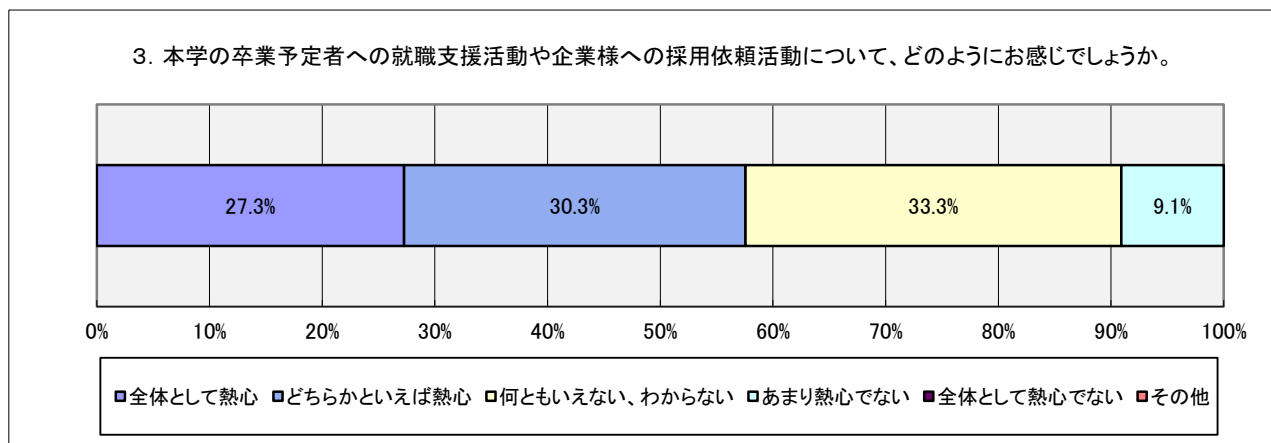
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	8
2	どちらかといえば高い	10
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	9
4	どちらかというとやや低い	5
5	全体として低い	0
6	その他	0



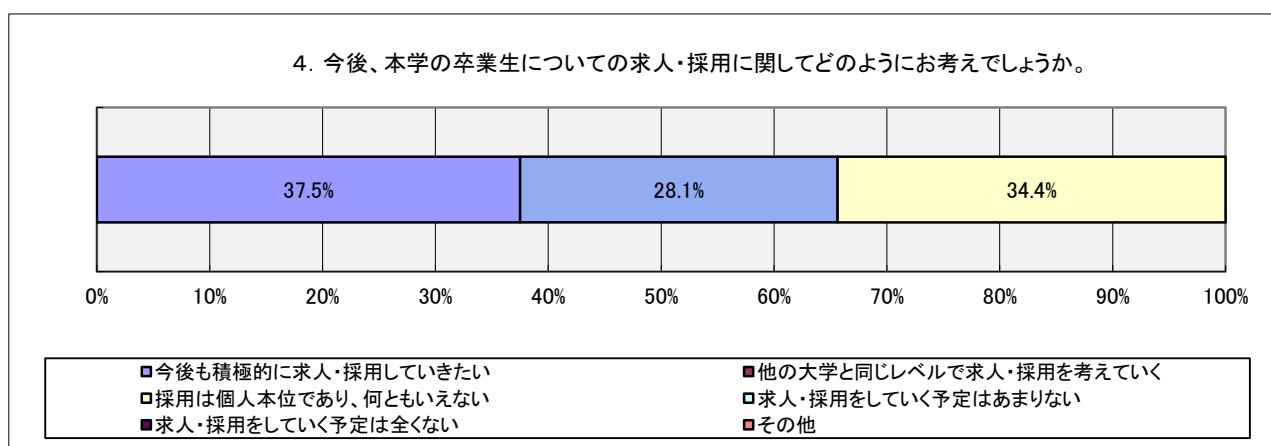
3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	9
2	どちらかといえば熱心	10
3	何ともいえない、わからない	11
4	あまり熱心でない	3
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0



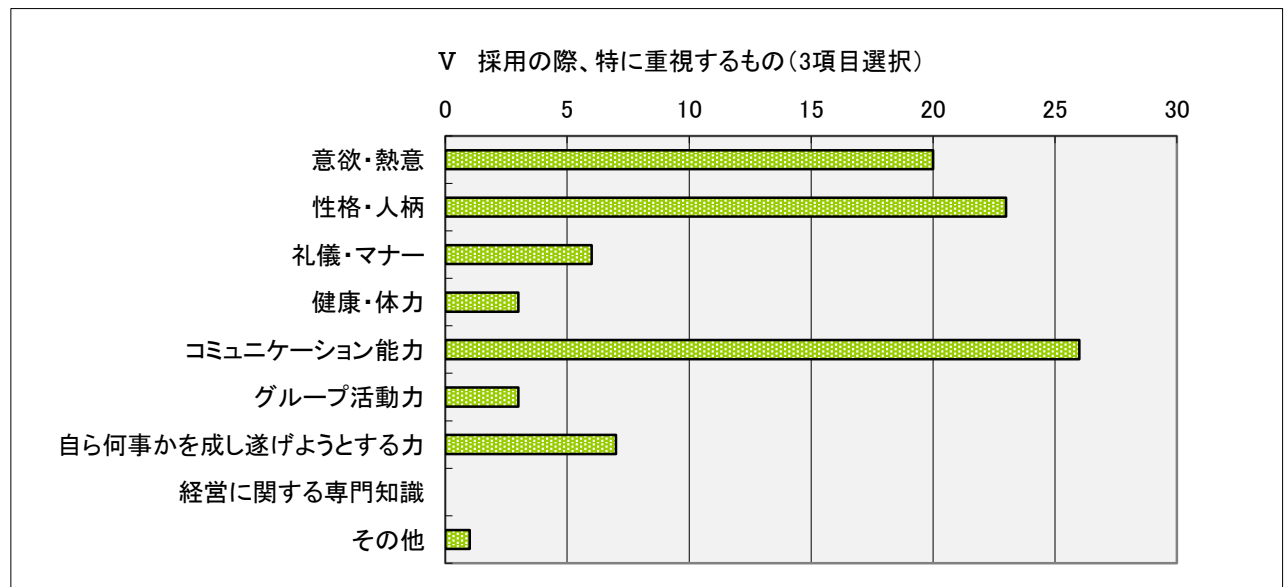
4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	12
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	9
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	11
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0



V 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	20
2	性格・人柄	23
3	礼儀・マナー	6
4	健康・体力	3
5	コミュニケーション能力	26
6	グループ活動力	3
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	7
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	1



令和2年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（企業等） 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 19 に対し、協力数は 15 で回収率は 78.9%であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（3 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

前年度に比べて回答率が 20%上がっているのはよろこばしいことである。しかし営業・販売で既に 1 名の退職者がいたのは残念である。

Ⅳ 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」が 40.0%（6 社）、「どちらかといえば応えている」が 46.7%（7 社）を占めている。そして「やや応えていない」「応えていない」という回答はなかった。

このデータで見る限りは本学の卒業生は、企業が求める人材として頑張っていることを示している。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」が 6.7%（1 社）、「どちらかといえば高い」が 73.3%（11 社）、そして「どちらかというやや低い」が 6.7%（1 社）を占めている。

「全体として高い」は少ないので気にかかるが、「どちらかといえば高い」が 11 社と良い評価して下さっているので今後の成長に期待したい。

Ⅳ-3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」が 40.0%（6 社）、「どちらかといえば熱心」が 26.7%（4 社）、そして「何ともいえない、わからない」が 33.3%（5 社）を占めている。

キャリア支援課による活動は、個人指導等大変熱心に取り組み学生をサポートしているのが少し伝わっていないのかと思われる。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」が 73.3%（11 社）、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」が 6.7%（1 社）、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 20.0%（3 社）を占めている。

今期の卒業生の活躍により良い回答を得ていると考えられる。しかしこれに甘んじることなく学生個人の能力を高めることが重要であると認識している。

Ⅴ 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「意欲・熱意」（12 社）、「性格・人柄」（11 社）、「コミュニケーション能力」（10 社）といった資質・能力を上げる企業が多く見られた。

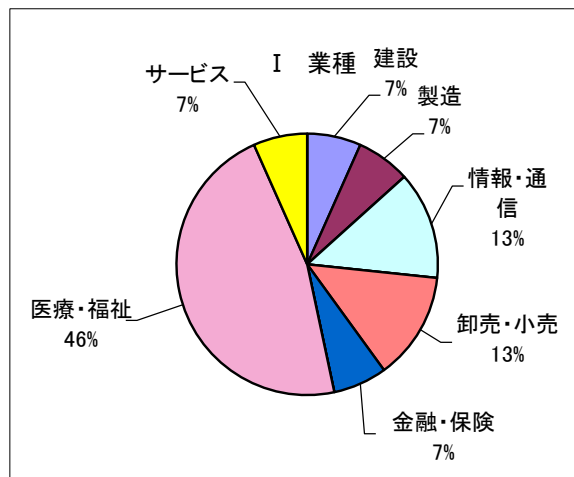
新入社員は企業では専門知識より「意欲・熱意・性格・人柄・コミュニケーション」等が求められている事がわかる。チームで仕事を進めていくのでこれらが大変重要な要素であると捉えることができる。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 企業等)

調査対象	令和元年度高松大学卒業生内定先		19 社
実施時期	令和2年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	19 社	
	協力数	15 社	
回収率			78.9%

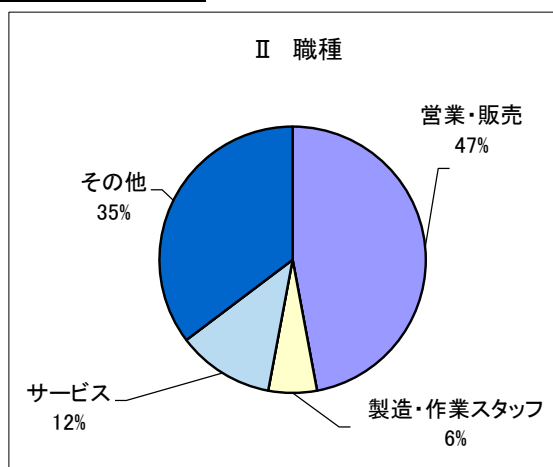
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	1
2	製造	1
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	2
5	運輸	0
6	卸売・小売	2
7	金融・保険	1
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	7
11	サービス	1
12	その他	0



II・III 令和2年4月に採用された本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(3ヵ月以内)
1	営業・販売	7	8	1
2	総務・事務	0	0	0
3	製造・作業スタッフ	1	1	0
4	通訳・貿易	0	0	0
5	サービス	2	2	0
6	公務	0	0	0
7	その他	5	6	0

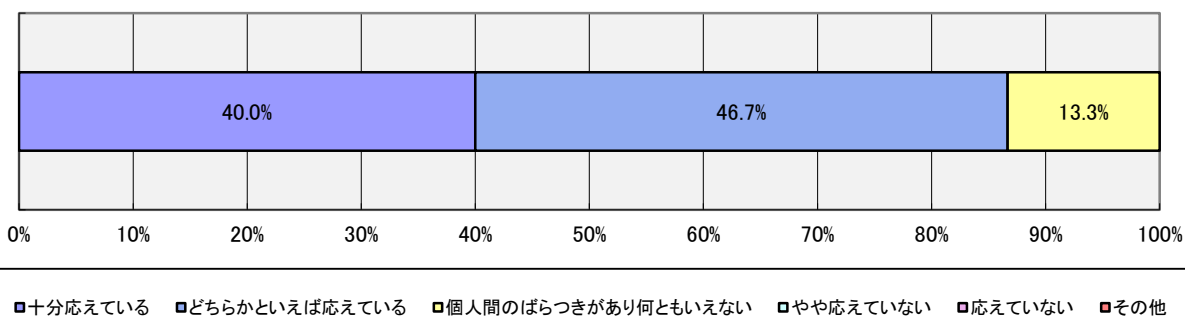


IV 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	6
2	どちらかといえば応えている	7
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	2
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	0

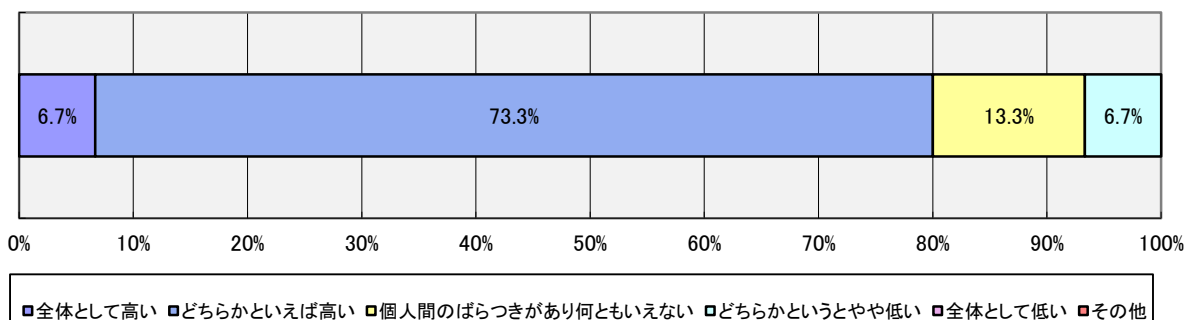
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	1
2	どちらかといえば高い	11
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	2
4	どちらかというやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	0

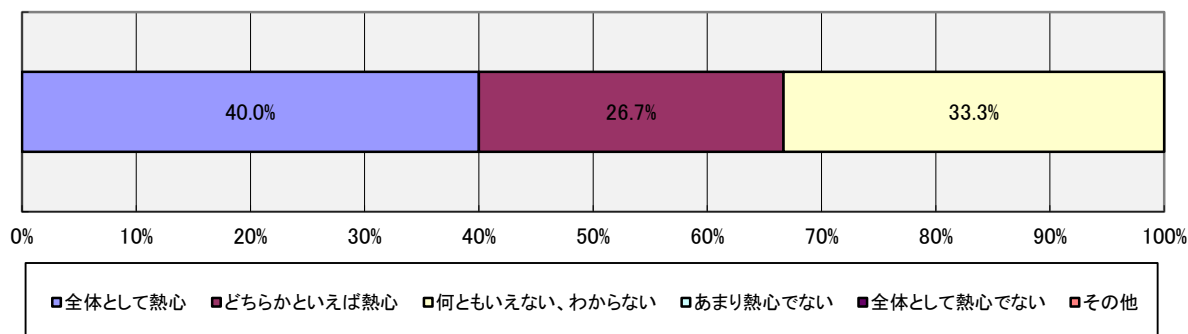
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。



3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	6
2	どちらかといえば熱心	4
3	何ともいえない、わからない	5
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

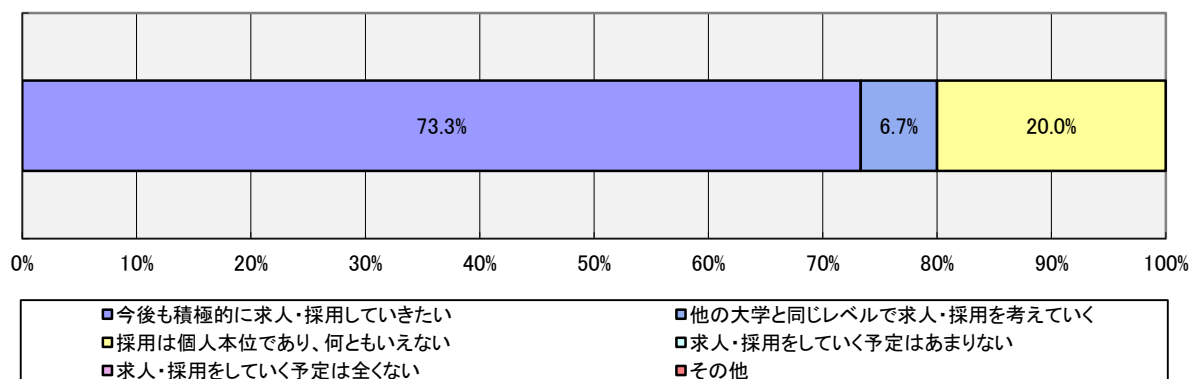
3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのように感じでしょうか。



4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

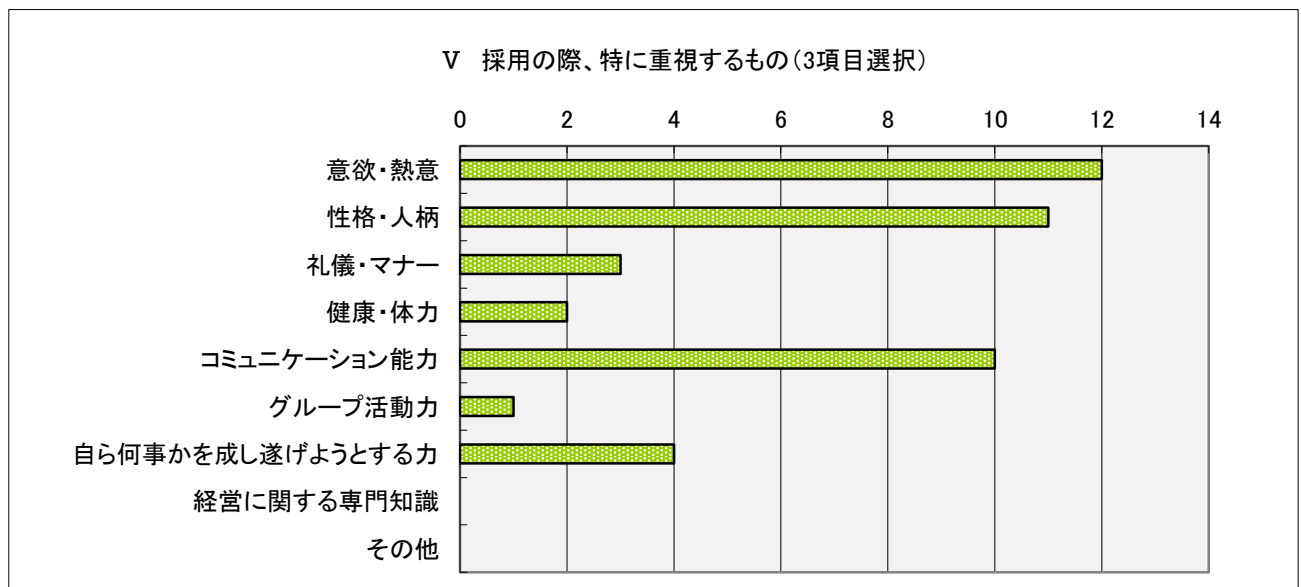
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	11
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	1
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	3
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。



V 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	12
2	性格・人柄	11
3	礼儀・マナー	3
4	健康・体力	2
5	コミュニケーション能力	10
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	4
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	0



令和2年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（教育・保育） 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 48 に対し、協力数は 36 で回収率は 75.0%であった。回答に協力いただいた小学校・幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（3 ヶ月以内）については図Ⅰ、Ⅱのとおりである。

Ⅲ 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園、所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 88.5%と高い評価を得ている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 5.7%、「やや応えていない」「応えていない」という回答は 5.8%であった。

一昨年、昨年、そして、今年と卒業生への肯定的な評価の割合が高くなり、ほぼ 9 割に達しようとしている。この結果に満足することなく、学生指導に学部を上げて努力したい。

Ⅲ-2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 77.8%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 19.4%、「どちらかというやや低い」という回答は 2.8%であった。

昨年、そして今年と、肯定的な評価の割合が高い水準を維持している。この数字を今後も安定的に維持、そして向上できるように努力したい。

Ⅲ-3. 本学の貴校（園、所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 37.2%、「何ともいえない、わからない」が 57.1%、「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答はなかった。

この数字は全体の半数以下の数字で推移している。キャリア支援課の職員の皆さんが努力してくださっているにもかかわらず、現場の意識に残っていないとすると残念である。ただ、現在の人材不足で求人を出しても応募してもらえないという不満の現れとも感じる。

Ⅲ-4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」が 55.5%であり、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 16.7%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

「その他」は 27.8%で、県や市での人事のため回答できない旨の記述もあった。

この数字も継続して同じような割合が続いている。今後とも、卒業生の競争相手は全国の学生という意識を持って指導に当たりたい。

Ⅳ 貴校（園、所）で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が最も多く、続いて「コミュニケーション能力」の回答が多く見られた。

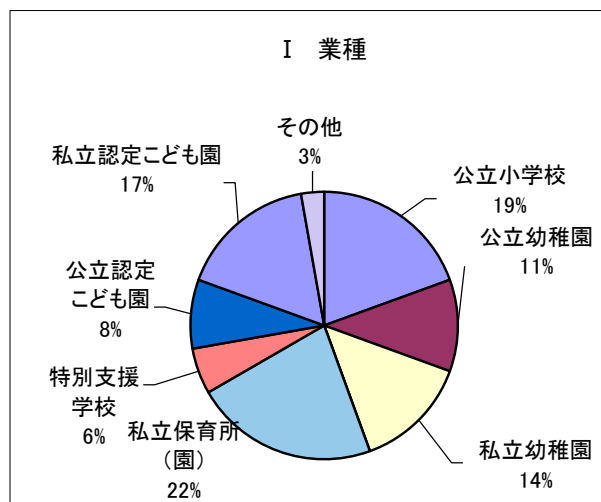
新卒なので、現場はできないことがあって当たり前、現場で育てるという意識を持ってくださっているのかと思う。本学に学ぶ学生には、先生として成長をし続けることの大切さを改めて指導したい。本学には、心根の良い学生が多く在籍していることを嬉しく思う。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 教育・保育)

調査対象	令和元年度高松大学 発達科学部 (教育・保育) 卒業生内定先 48校 (園・所)		
実施時期	令和2年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	48校 (園・所)	
	協力数	36校 (園・所)	
回収率		75.0%	

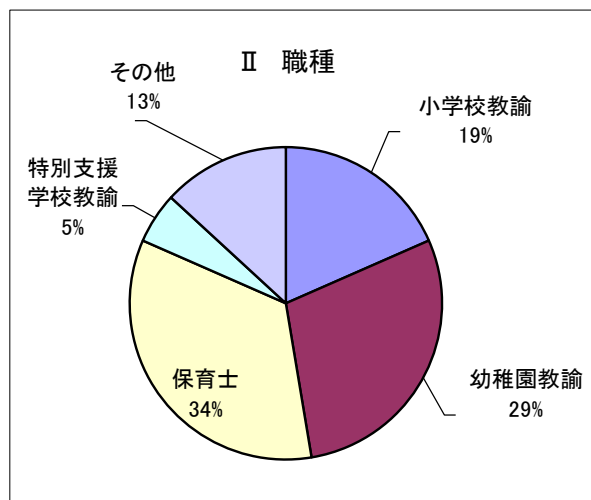
I 貴校(園・所)の区分についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立小学校	7
2	公立幼稚園	4
3	私立幼稚園	5
4	公立保育所(園)	0
5	私立保育所(園)	8
6	特別支援学校	2
7	公立認定こども園	3
8	私立認定こども園	6
9	その他	1



II 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の仕事(職種)ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(3ヵ月以内)
1	小学校教諭	7	7	0
2	幼稚園教諭	11	11	0
3	保育士	12	13	0
4	特別支援学校教諭	2	2	0
5	地域子育て支援センター職員	0	0	0
6	学童保育担当	0	0	0
7	病児保育担当	0	0	0
8	その他	4	5	0

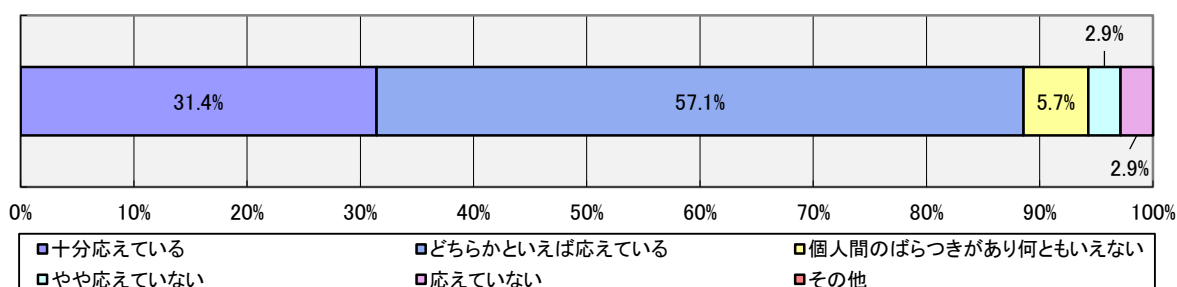


Ⅲ 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園・所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	11
2	どちらかといえば応えている	20
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	2
4	やや応えていない	1
5	応えていない	1
6	その他	0

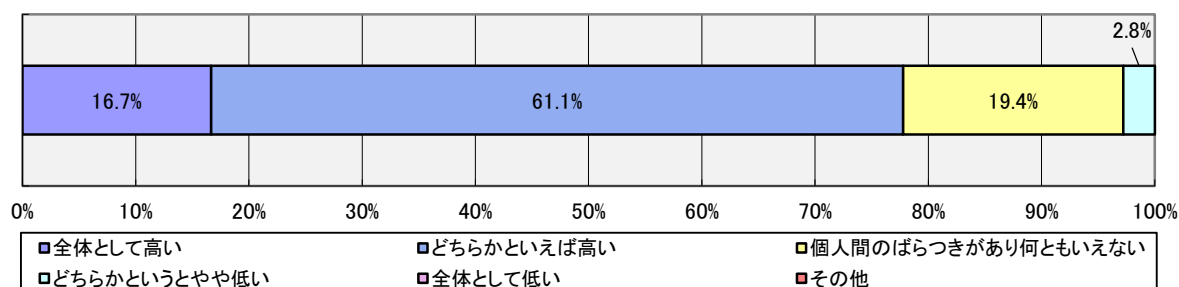
1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園・所)の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	6
2	どちらかといえば高い	22
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	7
4	どちらかというとやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	0

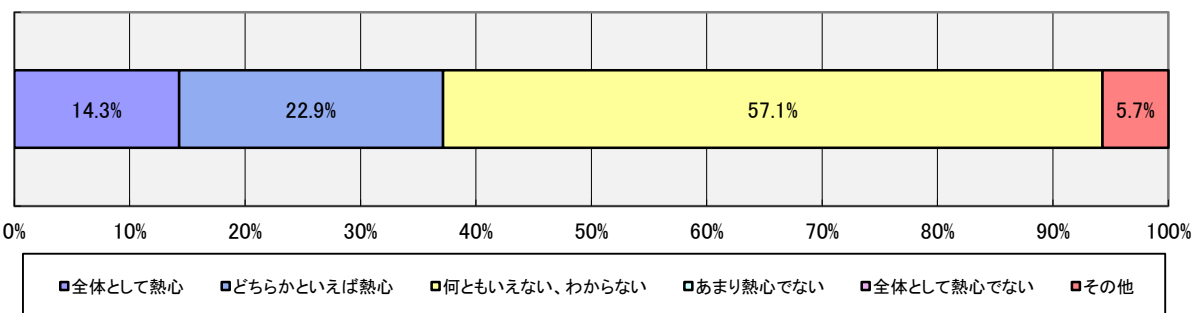
2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。



3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	5
2	どちらかといえば熱心	8
3	何ともいえない、わからない	20
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	2

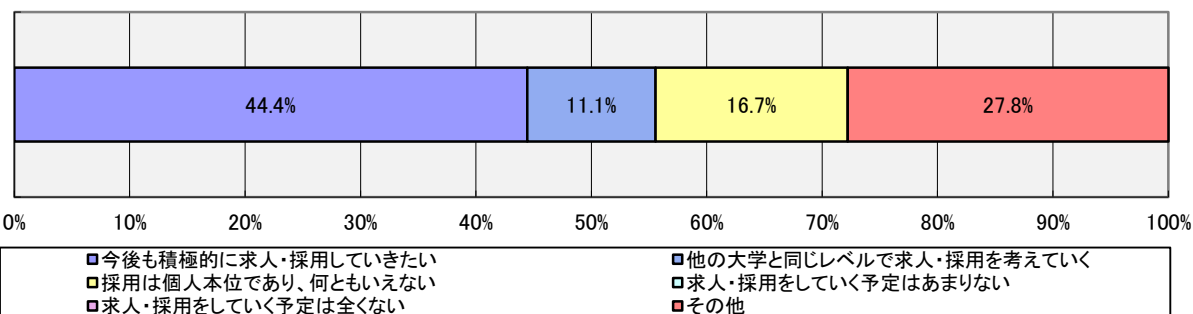
3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。



4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。

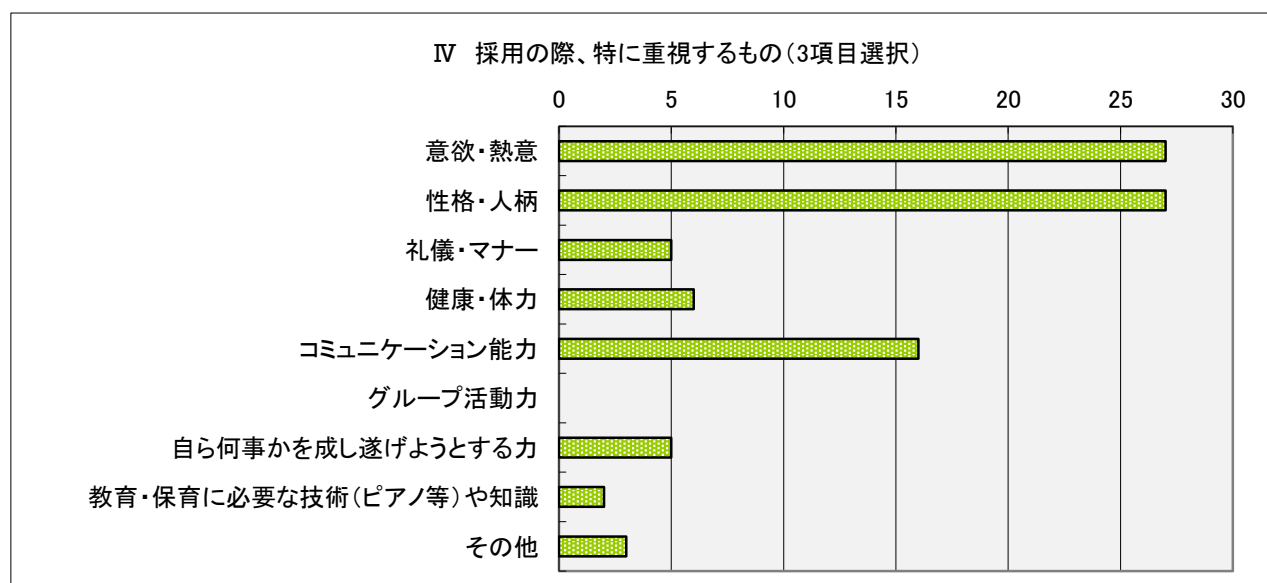
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	16
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	4
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	6
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	10

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。



Ⅳ 貴校(園・所)で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	27
2	性格・人柄	27
3	礼儀・マナー	5
4	健康・体力	6
5	コミュニケーション能力	16
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	5
8	教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識	2
9	その他	3

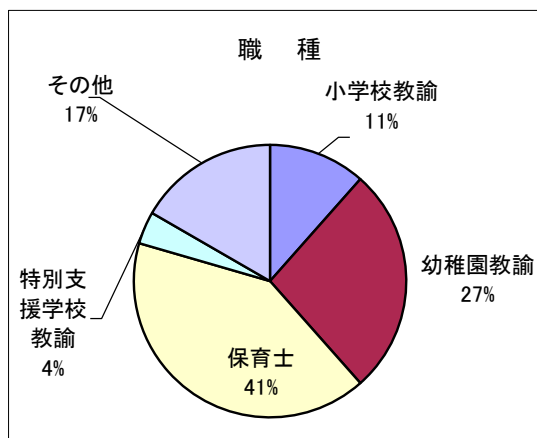


VI 最後に、本学発達科学部の卒業生についてお答えください。

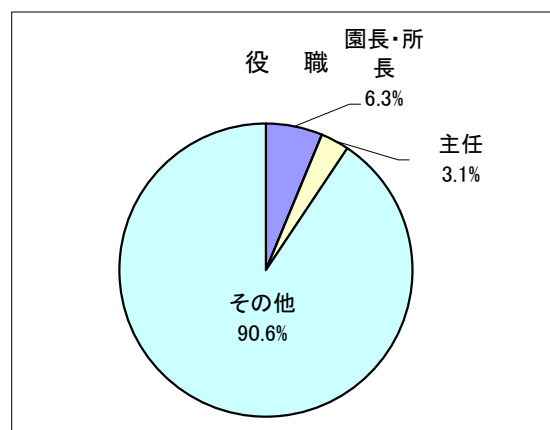
貴校(園・所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、職種、役職者数についてもお答えください。

	職 種	件数	人数
1	小学校教諭	7	9
2	幼稚園教諭	11	21
3	保育士	8	32
4	特別支援学校教諭	1	3
5	その他	7	13

	卒業生数	32	81
--	------	----	----



	役 職	件数	人数
1	園長・所長	2	2
2	副園長・副所長	0	0
3	主任	1	1
4	その他	11	29



**令和２年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート）
大学院経営学研究科 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）**

依頼数２に対し協力数なしのため、概要はありません。

令和2年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 保育学科 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 54 に対し、協力数は 45 で回収率は 83.3%であった。回答に協力いただいた幼稚園・保育所等の業種、卒業生の仕事（職種）・人数・退職者数（3 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱのとおりである。

Ⅲ 令和2年4月に採用された保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 保育学科卒業生は全体として、貴園（所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 79.5%であり、高い評価をいただいている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 9.1%、「やや応えていない」「応えていない」の割合が 9.1%（4 件で、そのうち 2 件は退職者）であった。

採用後 3 ヶ月程度での評価であることや、コロナ対応で通常とは違う園環境の中での勤務であることなどから、卒業生がどの程度職場で自己発揮しているか、つかみにくいところではあるが、概ね就職先の人材ニーズや期待に応えてくれているようである。就職してからの卒業生本人の努力や成長もあつてのことと思われるが、就職するまでのプロセスも大きく影響しているように思われる。

「十分応えている」に○を付けていただいた卒業生については、保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた園との良好な関係を構築することができた者ばかりである。故に、ミスマッチが少なく済んだのかもしれない。「やや応えていない」と「応えていない」に○の付いていた卒業生については、早期離職による期待外れと保育者としての未熟さが要因にあるように思われる。これらの卒業生は「個人間のばらつきがあり何ともいえない」も含めて、在学中に課題を感じていた者がほとんどで、即戦力としては及ばずとも、保育者としてのあるべき姿を理解し誠実に取り組み、養成に努めていかなければならないことが分かった。

Ⅲ-2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 60.0%であった。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 26.7%あり、「どちらかというやや低い」の割合も 11.1%（5 件）であった。

大半で、比較的高い評価をいただくことができた。特に、国公立就職者にはこの傾向が見られている。卒業生本人の努力や成長もあつてのことだが、保育学科の指導の在り方を確認する上でも有益な結果であった。引き続き、高い評価をいただけるよう、より良い指導を追求していきたい。また、「個人間のばらつきがあり何とも言えない」「どちらかというやや低い」といった低い評価が 4 割弱もあるが、Ⅲ-1 同様、在学中に課題を感じた学生に多いようである。毎年、一定数はこうした学生が散見されることから、個別対応の充実を図っていくことも重要と考える。

Ⅲ-3. 本学の貴園（所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 70.4%であった。「何ともいえない、わからない」が 25.0%あり、「あまり熱心でない」の割合も 2.3%（1 件）であった。

「何ともいえない、わからない」に○が付いている公立園は各市町としての採用であるためやむを得ないものであるが、高松市内外に関わらず実習園以外では、採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動が頻繁でないのは確かである。学生の就職志望の有無も大きく関係してくるので難しくもあるが、キャリア支援課といういつでも対応してくれる開かれた窓口もあり、年間を通しての就職への意識付けを行うとともに、ボランティアや園見学も含め、就職希望園との事前のつながりももてる機会について検討していきたい。

Ⅲ-4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」の割合が 67.4%、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」を合わせると 81.4%の割合であった。「その他」は 7.0%で、市役所での人事のため回答できない旨の記述もあった。

今後の求人・採用に関しても前向きな回答が得られて大変有難い。引き続き、コロナ感染症対策の動向も踏まえながら、保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた園との良好な関係を構築できるよう保育学科での指導を充実させていく。

Ⅳ 貴園（所）で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「性格・人柄」の回答が一番多く、次いで「意欲・熱意」「コミュニケーション能力」が重視されている。

保育の専門的知識や技能が上位に現れず、上記のような結果になることは、保育者においても職業人としての基本が重視されていることの表れである。したがって、今後も本学が重視する「対話に基づく人間教育」を推進し、学生の人間性を涵養していくことに努めていきたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (保育学科)

調査対象 令和元年度高松短期大学卒業生内定先 54 園 (所)

実施時期 令和2年7月

調査方法 郵送による質問紙法

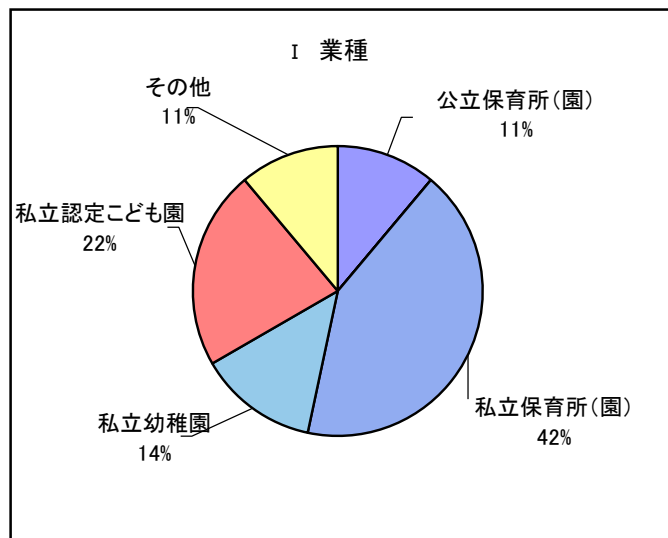
回収率 依頼数 54 園(所)

協力数 45 園(所)

回収率 83.3%

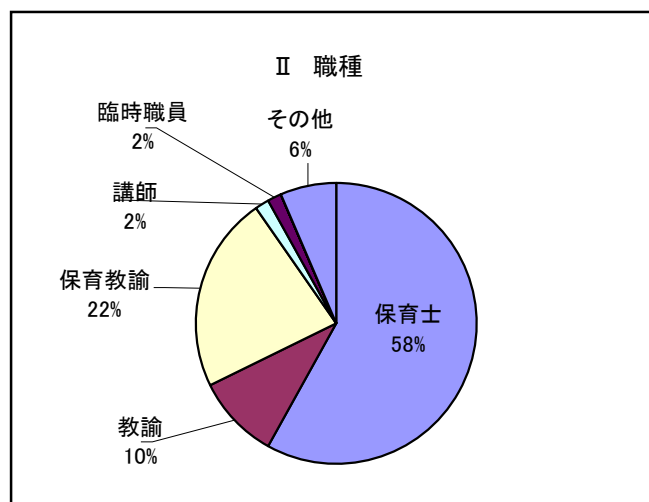
I 貴園(所)の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立保育所(園)	5
2	公立幼稚園	0
3	公立認定こども園	0
4	私立保育所(園)	19
5	私立幼稚園	6
6	私立認定こども園	10
7	その他	5



II 令和2年4月に採用された保育学科卒業生の仕事(職種)ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

	職 種	園(所)数	人数	内退職者(3ヵ月以内)
1	保育士	23	36	0
2	教諭	6	6	1
3	保育教諭	11	14	2
4	講師	1	1	0
5	臨時職員	1	1	0
6	預かり保育	0	0	0
7	地域子育て支援センター職員	0	0	0
8	学童保育担当者	0	0	0
9	病児保育担当者	0	0	0
10	その他	3	4	0

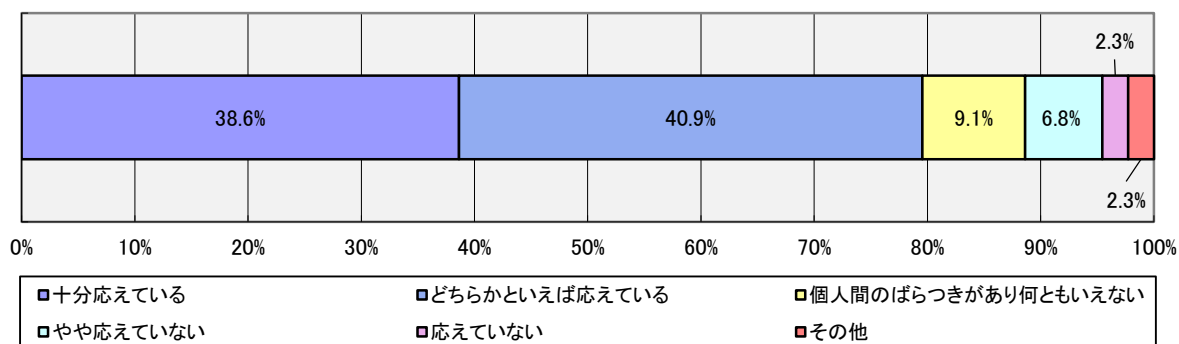


Ⅲ 令和2年4月に採用された保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	17
2	どちらかといえば応えている	18
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	4
4	やや応えていない	3
5	応えていない	1
6	その他	1

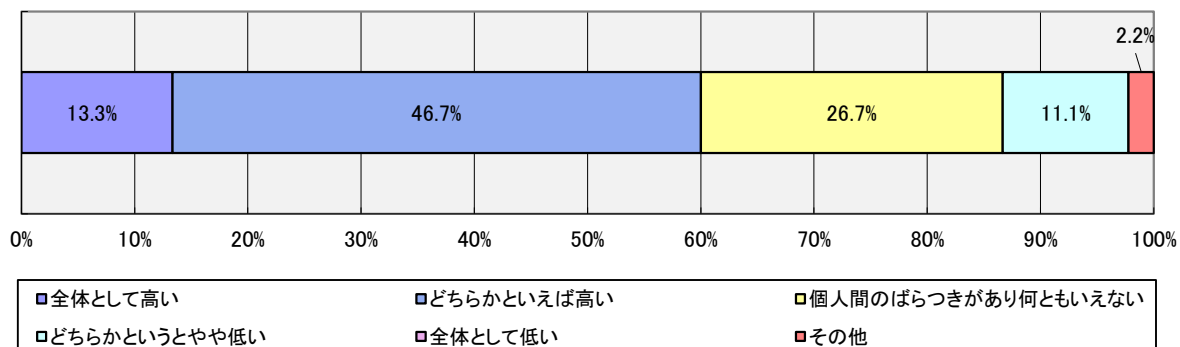
1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	6
2	どちらかといえば高い	21
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	12
4	どちらかというやや低い	5
5	全体として低い	0
6	その他	1

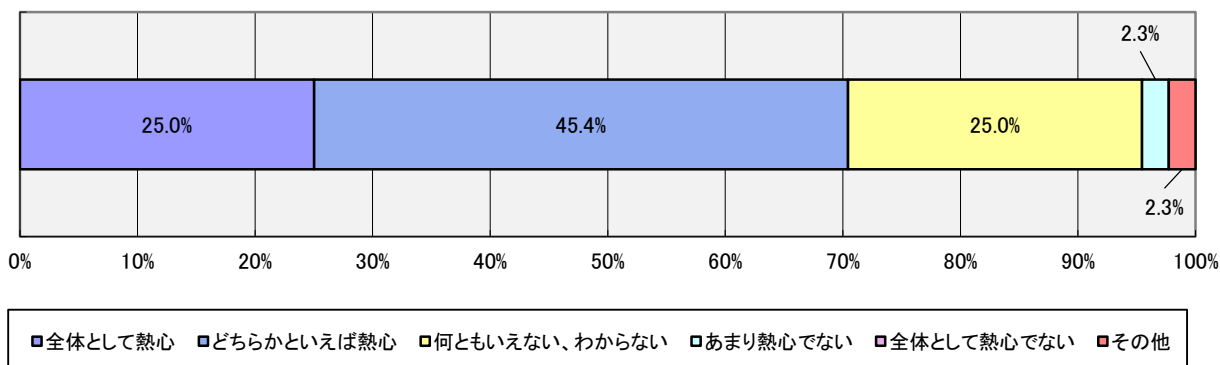
2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。



3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	11
2	どちらかといえば熱心	20
3	何ともいえない、わからない	11
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	1

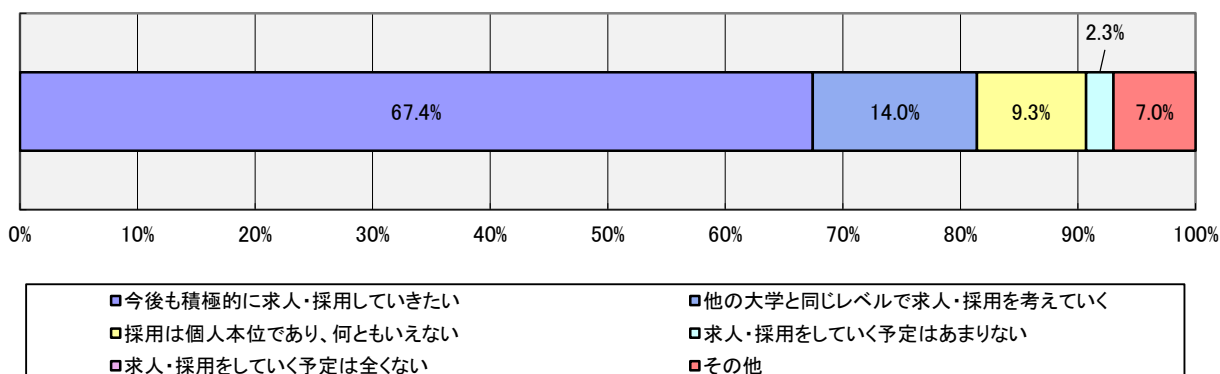
3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。



4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。

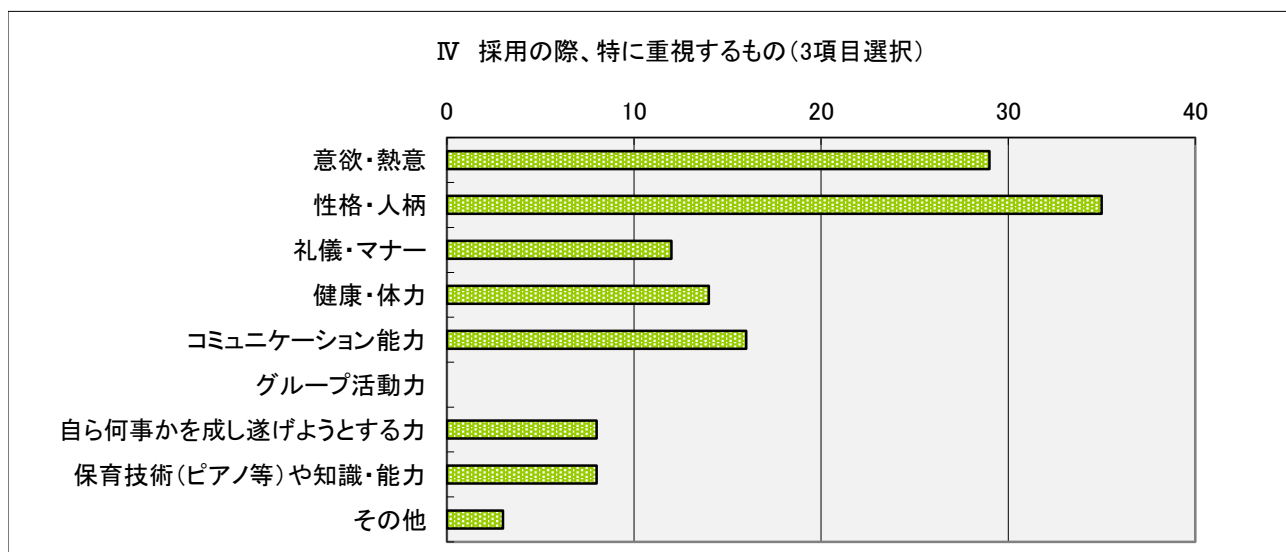
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	29
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	6
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	4
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	1
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	3

4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。



Ⅳ 貴園(所)で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

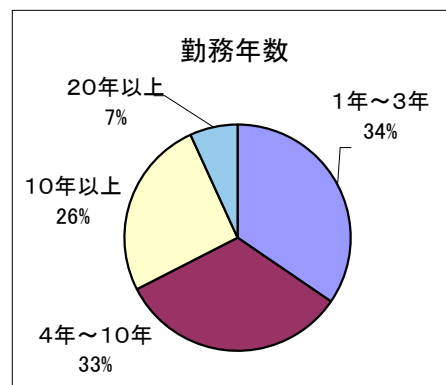
	項 目	件数
1	意欲・熱意	29
2	性格・人柄	35
3	礼儀・マナー	12
4	健康・体力	14
5	コミュニケーション能力	16
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	8
8	保育技術(ピアノ等)や知識・能力	8
9	その他	3



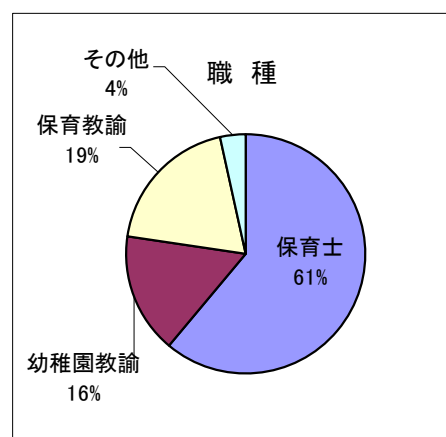
Ⅵ 最後に、本学保育学科(幼児教育学科、児童教育学科)の卒業生についてお答えください。
貴園(所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

	項 目	園(所)数	人数
	卒業生数	41	254

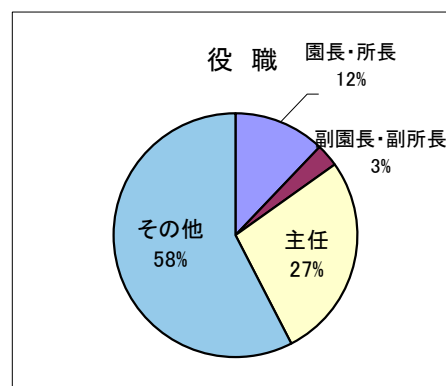
	勤務年数	園(所)数	人数
1	1年～3年	37	86
2	4年～10年	26	82
3	10年以上	23	64
4	20年以上	12	17



	職 種	園(所)数	人数
1	保育士	19	124
2	幼稚園教諭	5	33
3	保育教諭	6	39
4	その他	7	7



	役 職	園(所)数	人数
1	園長・所長	4	4
2	副園長・副所長	1	1
3	主任	7	9
4	その他	6	19



令和2年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 秘書科 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 57 に対し、協力数は 43 で回収率は 75.4%であった。回答に協力いただいた企業・病院の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（3ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱのとおりである。

Ⅲ 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 69.8%とやや低い評価になっている。また、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 18.6%、「やや応えていない」「応えていない」は 4.6%（2件で、そのうち1件は退職者）であった。

上記の結果から、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」と評価されている卒業生が多いことが分かる。理由として、卒業してすぐの学生のほとんどはまだまだ学ぶべきことが多く、即戦力として生かすには物足りないと感じている部分が多いからではないかと考えられる。

Ⅲ-2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 58.2%と低い評価になっている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 32.5%、「どちらかというやや低い」の回答は 7.0%（3件）であった。

上記の結果から、設問Ⅲ-Ⅰに引き続き「個人間のばらつきがあり何ともいえない」と評価されている卒業生が多いことが分かる。理由として、仕事に少し慣れてきて頑張ろうという意欲が減少気味になる学生がいたり、職場環境等が思っていたものと違うと感じていたり、仕事について学ぶべきことが多くその事だけで精一杯になってしまっている学生がいるからではないかと考えられる。そのため、能力や意識の水準が低いと感じられる部分が多くなっているではないかと考えられる。

Ⅲ-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合は 74.4%と高い評価を得ている。「何ともいえない、わからない」の割合が 23.3%、「あまり熱心でない」の回答は 2.3%（1件）であった。

上記の結果から、高い評価となっているのは一昨年、昨年とキャリア支援課の努力や、一部教員の病院・企業訪問を続けていただいた結果であると考えられる。なお、「何ともいえない、わからない」が 10件あるのは、大学との接触がほとんどなかった企業と考えられ、企業にどのようなアプローチをかけていくのが今後の検討課題になると思われる。

Ⅲ-4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が 74.5%、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 16.3%、「求人・採用をしていく予定はあまりない」の回答は 4.6%（2件）であった。

上記の結果から、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 7件あるのは、秘書科卒業生として一律に判断されているのではなく、個々の意欲や能力を見て判断した結果だと考えられる。このように判断された学生の在学当時の成績や学生生活態度、研究室担当教員からのコメントを集めて分析を行う必要があると思われる。

Ⅳ 貴社・貴院で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「コミュニケーション能力」の回答が一番多く、次いで「性格・人柄」「意欲・熱意」が重視されている。

上記3点は秘書科の教育として最重要教育課題として取り組んでいる事であり、今後も上記3点を基本として、教育によりそれらの能力に秀でた人材を社会に送りだせるように努める。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (秘書科)

調査対象 令和元年度高松大学卒業生内定先 57 社(院)

実施時期 令和2年7月

調査方法 郵送による質問紙法

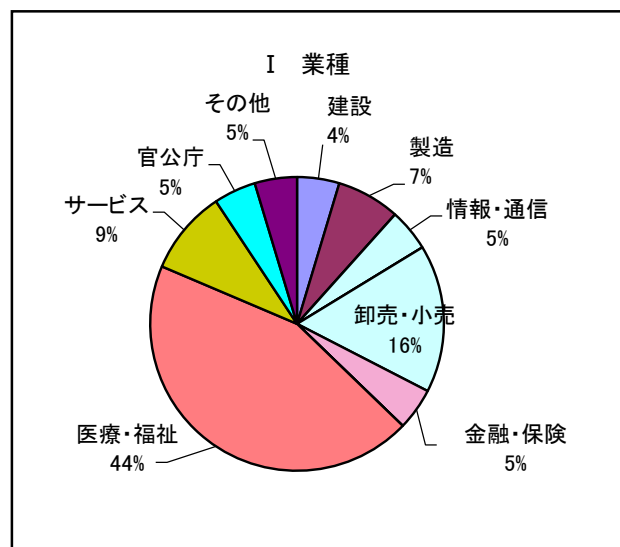
回収率 依頼数 57 社(院)

協力数 43 社(院)

回収率 75.4%

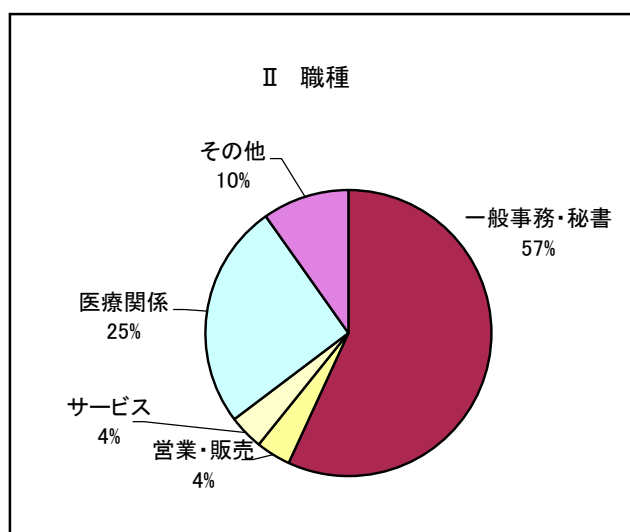
I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	2
2	製造	3
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	2
5	運輸	0
6	卸売・小売	7
7	金融・保険	2
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	19
11	サービス	4
12	官公庁	2
13	その他	2



II 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(3ヵ月以内)
1	一般事務・秘書	23	29	2
2	営業・販売	2	2	0
3	サービス	2	2	0
4	医療関係	12	13	1
5	その他	4	5	0

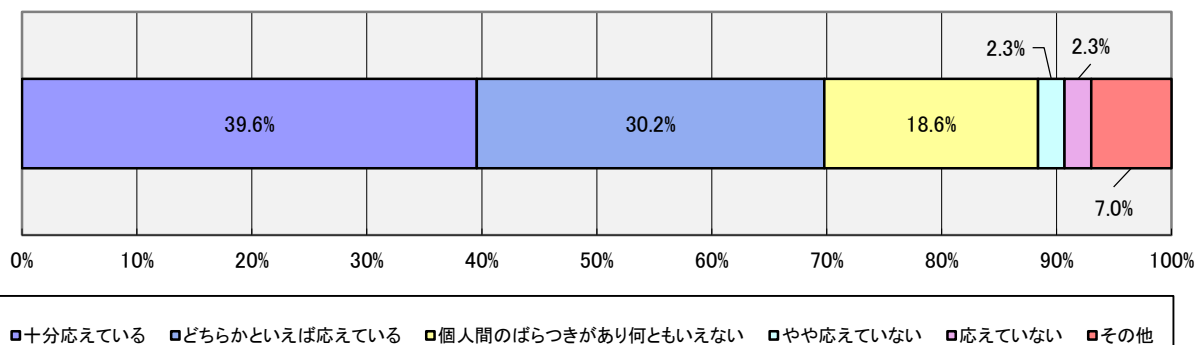


Ⅲ 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	17
2	どちらかといえば応えている	13
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	8
4	やや応えていない	1
5	応えていない	1
6	その他	3

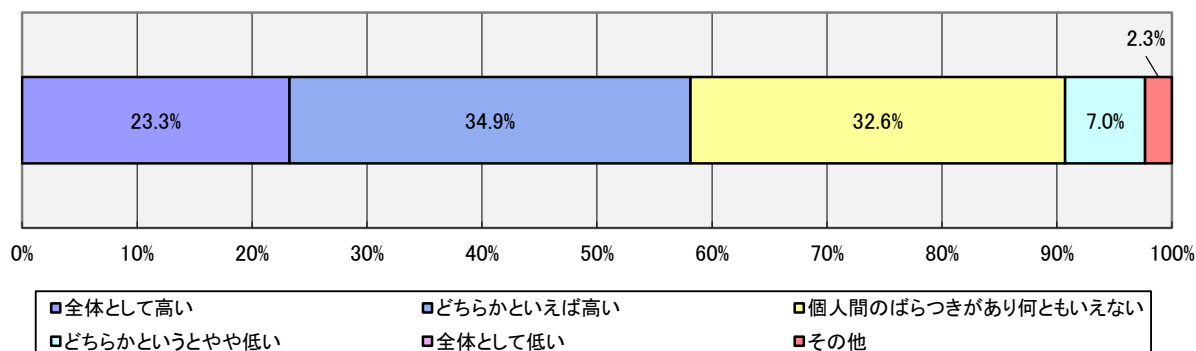
1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	10
2	どちらかといえば高い	15
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	14
4	どちらかというやや低い	3
5	全体として低い	0
6	その他	1

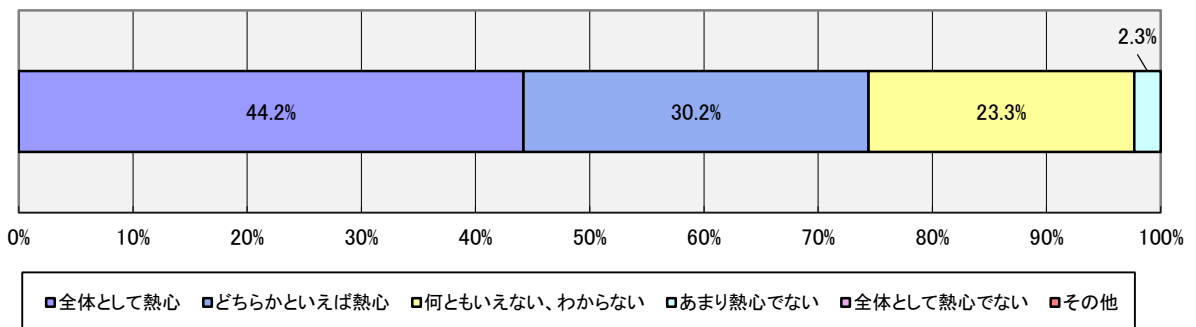
2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。



3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	19
2	どちらかといえば熱心	13
3	何ともいえない、わからない	10
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

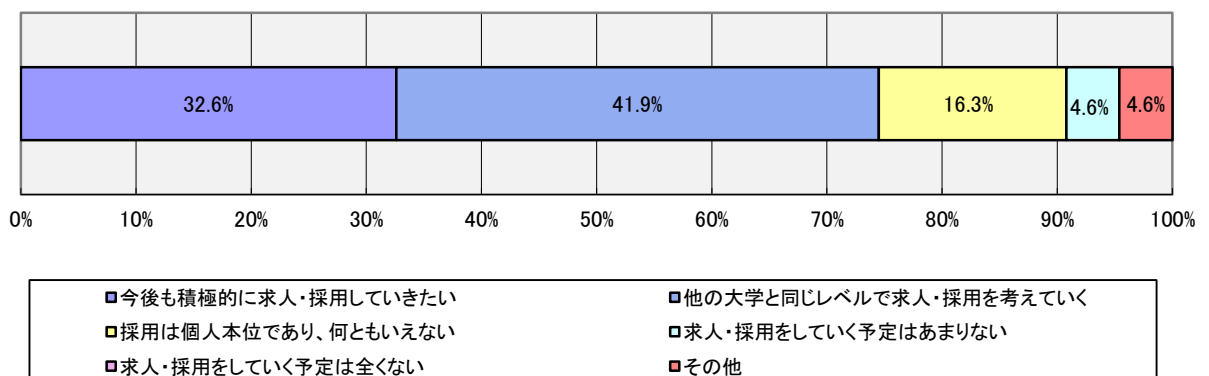
3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのように感じでしょうか。



4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

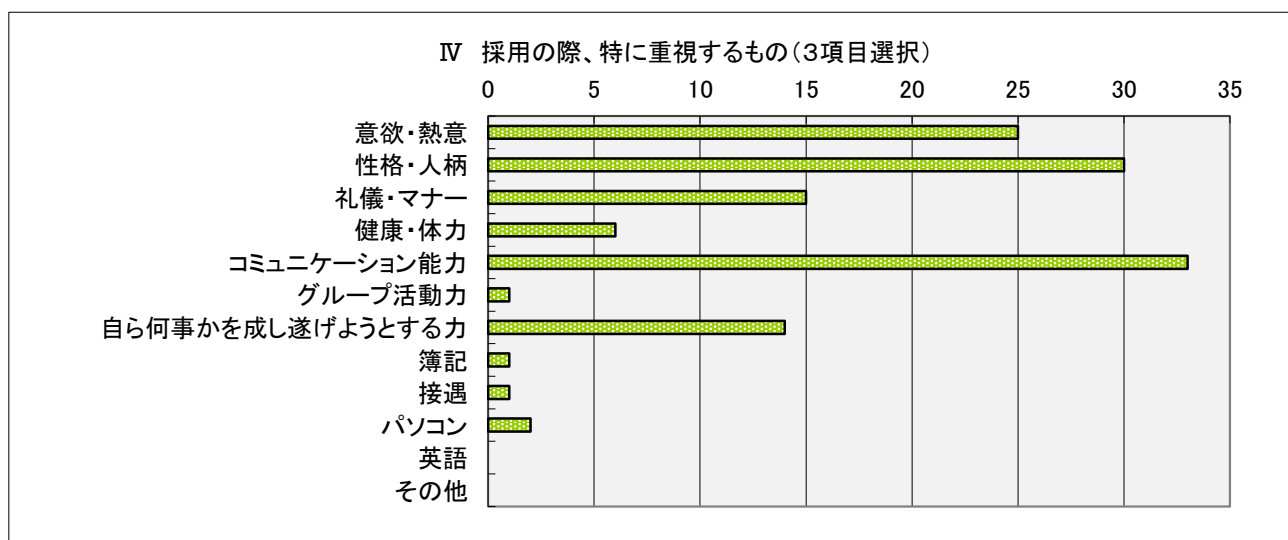
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	14
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	18
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	7
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	2
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	2

4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。



IV 採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	25
2	性格・人柄	30
3	礼儀・マナー	15
4	健康・体力	6
5	コミュニケーション能力	33
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	14
8	簿記	1
9	接遇	1
10	パソコン	2
11	英語	0
12	その他	0



返信先：FAX. 087-841-7158 (高松大学キャリア支援課) (送付状は不要です)
締切：7月31日(金)

高松大学 卒業生に関するアンケート (企業等)

I 貴社の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)その他 ()

II 令和2年4月に採用された本学卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

- 1)営業・販売____名 2)総務・事務____名 3)製造・作業スタッフ____名 4)通訳・貿易____名
5)サービス____名 6)公務____名 7)その他 () ____名

III 令和2年4月に採用された本学卒業生の学部等名と人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者の人数と時期をお答えください。

- 1)経営学部____名(内留学生____名)うち退職____名(____年____月)
2)発達科学部____名うち退職____名(____年____月)
3)大学院経営学専攻____名(内留学生____名)うち退職____名(____年____月)

IV 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

該当する番号を1つ選んでください。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1)十分応えている 2)どちらかといえば応えている 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
4)やや応えていない 5)応えていない 6)その他 ()

2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として高い 2)どちらかといえば高い 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
4)どちらかというやや低い 5)全体として低い 6)その他 ()

3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として熱心 2)どちらかといえば熱心 3)何ともいえない、わからない
4)あまり熱心でない 5)全体として熱心でない 6)その他 ()

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1)今後も積極的に求人・採用していきたい 2)他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3)採用は個人本位であり、何ともいえない 4)求人・採用をしていく予定はあまりない
5)求人・採用をしていく予定は全くない 6)その他 ()

V 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

- 1)意欲・熱意 2)性格・人柄 3)礼儀・マナー 4)健康・体力
5)コミュニケーション能力 6)グループ活動力 7)自ら何事かを成し遂げようとする力
8)経営に関する専門知識 9)その他 ()

VI 本学卒業生を採用されたお立場から、本学の教育の方針・内容について、改善すべきこと、良いと思われることなど、お気づきの点がございましたら、具体的にご記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX. 087-841-7158 (高松大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：7月31日(金)

高松大学発達科学部 卒業生に関するアンケート (教育・保育等)

I 貴校(園、所)の業種についてお答えください。

- 1) 公立小学校 2) 公立幼稚園 3) 私立幼稚園 4) 公立保育所(園) 5) 私立保育所(園)
6) 特別支援学校 7) 公立認定こども園 8) 私立認定こども園 9) その他()

II 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の仕事(職種)ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者の人数と時期をお答えください。

- 1) 小学校教諭 名うち退職 名(年 月) 2) 幼稚園教諭 名うち退職 名(年 月)
3) 保育士 名うち退職 名(年 月) 4) 特別支援学校教諭 名うち退職 名(年 月)
5) 地域子育て支援センター職員 名うち退職 名(年 月)
6) 学童保育担当 名うち退職 名(年 月) 7) 病児保育担当 名うち退職 名(年 月)
8) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。該当する番号を1つ選んでください。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園、所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他()

2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他()

3. 本学の貴校(園、所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他()

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他()

IV 貴校(園、所)で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識 9) その他()

V 発達科学部の卒業生を採用された立場から、本学発達科学部の教育について、改善すべき点、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがあれば遠慮なくご自由にご記入ください。

.....
.....

VI 最後に、本学発達科学部の卒業生についてお答えください。

貴校(園、所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち職種、役職者数についてお答えください。

◇卒業生数 名

◇職種 1) 小学校教諭 名 2) 幼稚園教諭 名 3) 保育士 名

4) 特別支援学校教諭 名 5) その他() 名

◇役職 1) 園長・所長 名 2) 副園長・副所長 名 3) 主任 名 4) その他() 名

◆貴校(園・所)名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX. 087-841-7158 (高松短期大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：7月31日(金)

高松短期大学保育学科 卒業生に関するアンケート

I 貴園(所)の業種についてお答えください。

- 1) 公立保育所(園) 2) 公立幼稚園 3) 公立認定こども園 4) 私立保育所(園) 5) 私立幼稚園
6) 私立認定こども園 7) その他()

II 令和2年4月に採用された保育学科卒業生の仕事(職種)ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者の人数と時期をお答えください。

- 1) 保育士 名うち退職 名(年 月) 2) 教諭 名うち退職 名(年 月)
3) 保育教諭 名うち退職 名(年 月) 4) 講師 名うち退職 名(年 月)
5) 臨時職員 名うち退職 名(年 月) 6) 預かり保育 名うち退職 名(年 月)
7) 地域子育て支援センター職員 名うち退職 名(年 月)
8) 学童保育担当者 名うち退職 名(年 月) 9) 病児保育担当者 名うち退職 名(年 月)
10) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和2年4月に採用された保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。該当する番号を1つ選んでください。

1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。
1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他()
2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。
1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他()
3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。
1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他()
4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。
1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他()

IV 貴園(所)で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 保育技術(ピアノ等)や知識・能力 9) その他()

V 保育学科の卒業生を採用された立場から、本学保育学科の教育について、改善すべき点、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがあれば遠慮なくご自由にご記入ください。

.....
.....
.....

VI 最後に、本学保育学科(幼児教育学科、児童教育学科)の卒業生についてお答えください。

貴園(所)では、本学卒業生が何名お世話になってますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

- ◇卒業生数 _____ 名
勤務年数 1) 1年～3年 _____ 名 2) 4年～10年 _____ 名 3) 10年以上 _____ 名 4) 20年以上 _____ 名
◇職種 1) 保育士 _____ 名 2) 幼稚園教諭 _____ 名 3) 保育教諭 _____ 名 4) その他() _____ 名
◇役職 1) 園長・所長 _____ 名 2) 副園長・副所長 _____ 名 3) 主任 _____ 名 4) その他() _____ 名

◆貴園(所)名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX. 087-841-7158 (高松短期大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：7月31日(金)

高松短期大学秘書科 卒業生に関するアンケート

I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)官公庁 13)その他 ()

II 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者の人数と時期をお答えください。

- 1) 一般事務・秘書 名うち退職 名(年 月) 2) 営業・販売 名うち退職 名(年 月)
3) サービス 名うち退職 名(年 月) 4) 医療関係 名うち退職 名(年 月)
5) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

該当する番号を1つ選んでください。

1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他 ()

2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他 ()

3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他 ()

4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他 ()

IV 採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 簿記 9) 接遇 10) パソコン 11) 英語
12) その他 ()

V 秘書科の卒業生を採用されたお立場から、本学秘書科の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、お気づきの点がございましたら、具体的に記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社・貴院名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

令和２年度「就職先からの卒業生に対する評価（卒業生
に関するアンケート）」集計結果報告書
（令和元年度卒業生対象）

発行日 令和２年９月３０日
編 集 高松大学・高松短期大学 学生委員会
発 行 高松大学・高松短期大学
〒761-0194
香川県高松市春日町 960 番地
TEL 087-841-3255（代表）
FAX 087-841-3064